

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 6月号

令和8年 6月 1日

校長 楠山 小百合

子ども目線で育む～笑顔あふれる学校を～



梅雨入りを前にして、日差しは強いものの、日陰の涼しさが心地よい季節になりました。朝、西門で「おはようございます！」と子どもたちとあいさつを交わすひとときは、私にとって最高の1日の始まりです。そして、汐風海道や門の周りには、本校の校章のデザインでもある「はまひるがお」がたくさん咲き、子どもたちの登校を温かく見守ってくれています。

一方で、最近の悲しいニュースにふれるたび、心が痛みます。先日も地域の方と「社会が少しずつ変わってきているのではないか」というお話になりました。このように変化が激しく、先行きが不透明な時代だからこそ、学校は子どもたちが夢を持って過ごせる場所でありたいと考えています。そのために私たちが立ち返りたいのは、いつの時代も変わらない「本来の子どもの姿」を理解することではないでしょうか。

子どもは本来、旺盛な好奇心を持ち、小さな失敗を繰り返しながら、たくましく生きる力を身に付けていくものです。しかし、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』には、耳の痛いこんな一文があります。

「大人は、だれも、はじめは子どもだった。（しかし、そのことを忘れずにいる大人は、いくらもない。）」

私たちは、子どもに失敗させないようにと先回りして手を出し過ぎたり、大人の先入観を押し付けたりしていませんか。「自分が子どもだったらどうしたいだろう」という目線に立ち返るだけで、子どもへの接し方や見え方は大きく変わるはず。これからも子どもたちの良さをのびのびと伸ばして、『笑顔あふれる学校』になるよう努めていきたいと思えます。

花いっぱい学校と、地域への感謝！



2年前より常盤町にお住まいの村松 俊光さんが、学校の花壇や子どもたちが育てている植物を、いつも心を込めて整備してくださっています。

卒業式や入学式を彩った菜の花をはじめ、季節折々の美しい花々は、学校をパッと華やかにし、私たちの心を和ませてくれています。今は、夏に向けてご自宅で作られたひまわりやキバナコスモスの苗を植えていただいているところです。いつもありがとうございます。

美しい環境を整えてくださる地域の方への感謝の気持ちを大切にするとともに、植物の栽培を通して、子どもたちの「命を大切に作る心」を豊かに育てていきたいと思えます。



今年も 田植えの季節がやってきました!!



汐小の米づくりが今年も屋上の田んぼを使って、5年生を中心に取りんでいます。

5/8（金）5年生の雑草抜きからスタート！田んぼの整備を教職員全員で行った後、様々な学年の児童が昼休みに田んぼに集まり、田おこしを手伝ってくれました。屋上の田んぼが、『汐小みんなの田んぼ』になりました。5/25（月）から田んぼに水を張り、5/29（金）には1年生も代かきを兼ねて「どろんこ遊び」で田んぼとふれあいました。

この後は、いよいよ田植えとなります。今年も、うるち米「はるみ」を育てます。「田植え」に、地域・保護者の皆さまのお手伝いをいただければ幸いです。参加可能な方は、教室棟校庭側外階段を上っていただき、8：40に屋上の田んぼに直接ご集合ください。途中での参加や退出、参観も可能です。どうぞよろしくお願いいたします。



5年生「田植え」 6月2日(火) 2・3校時(9:35～)

*雨天・延期の場合 6月9日(火) 2・3校時(9:35～)



※参加可能な方は、QRコードより
ご登録ください。